



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年10月25日

上場会社名 石塚硝子株式会社 上場取引所 東・名
コード番号 5204 URL <https://www.ishizuka.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 石塚 久継
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 財務部長 (氏名) 畔柳 博史 (TEL) 0587-37-2111
四半期報告書提出予定日 2023年10月31日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年3月21日~2023年9月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	29,855	1.5	3,198	104.5	3,240	74.3	2,461	—
2023年3月期第2四半期	29,413	—	1,563	△22.8	1,858	△14.8	126	△93.4

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 3,431百万円(—%) 2023年3月期第2四半期 △4百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	589.79	—
2023年3月期第2四半期	30.30	—

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しているため、2023年3月期第2四半期の売上高の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	92,732	31,972	30.4	6,775.90
2023年3月期	86,536	28,749	29.0	5,997.88

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 28,186百万円 2023年3月期 25,104百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	—	—	35.00	35.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年3月21日~2024年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	57,000	0.4	4,000	80.9	3,800	64.0	3,000	—	718.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	4,219,554株	2023年3月期	4,219,554株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	59,807株	2023年3月期	33,933株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	4,172,699株	2023年3月期2Q	4,185,852株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料につきましては、T D n e t で本日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の規制が大幅に緩和され経済活動が正常化に進む一方、米国及び欧州を中心とした金融引き締めによる海外経済の下振れリスク、ウクライナ情勢を巡る国際情勢の長期化や円安を背景とした諸資材価格の高騰とそれに伴う物価高騰など先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、長期的な視点で会社の方向を示すべきと考え、2019年に制定した新たな企業理念を踏まえ、「ISHIZUKA GROUP 2030～挑戦し続けることにより、躍動する企業へ～」を策定しました。また、これに基づき策定した当期を2年度目とする2024年度中期経営計画「変化するスピードに負けない」では、①2024年度連結営業利益3,500百万円、②中堅・若手人材の育成への取り組み、③2030年度CO2排出量をScope 1 + Scope 2において50%削減・Scope 3において25%削減（ともに2020年度対比）に向けたロードマップ作りとその実践に取り組んでおります。

売上高につきましては、ガラスびん事業は生産拠点である姫路工場の操業停止により減収となりましたが、各セグメントにおいて諸資材価格の高騰に対する価格改定の取り組みを進め、グループ全体の売上高は29,855百万円(前年同四半期比1.5%増)。利益につきましては、LNG及び電力などのエネルギー価格は依然として高い水準にあります。価格改定に加えて製造工程の合理化を通じたコスト低減施策の取り組みにより、営業利益3,198百万円(前年同四半期比104.5%増)、経常利益3,240百万円(前年同四半期比74.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,461百万円(前年同四半期は126百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

<ガラスびん関連事業>

ガラスびんは、諸資材価格の高騰に対する販売価格改定の取り組みを進めましたが、前年度に操業を停止した姫路工場の影響により、売上高は6,208百万円(前年同四半期比14.4%減)となりました。

<ハウスウェア関連事業>

ガラス食器は、アルコールメーカー向けの業務用品の受注が増加しましたが、一般市場向けの需要が伸び悩んだことや貯蔵びんの品目数を縮小したことなどにより全体として伸び悩みました。陶磁器は、国内及び海外ともにホテル向けの受注を獲得したことなどにより、セグメント全体の売上高は6,834百万円(前年同四半期比2.1%増)となりました。

<紙容器関連事業>

紙容器は、急激な円安進行等に伴い製品の主原料である原紙の調達コストが高騰していますが、それに対する販売価格は是正の取り組みと紙容器用充填機の販売もあり、売上高は4,452百万円(前年同四半期比22.0%増)となりました。

<プラスチック容器関連事業>

PETボトル用プリフォームは、原燃料高騰に対する販売価格改定に加え主要ユーザーからの受注が堅調に推移し、売上高は8,711百万円(前年同四半期比10.1%増)となりました。

<産業器材関連事業>

産業器材は、調理器用トッププレートの受注が堅調に推移し、売上高は1,254百万円(前年同四半期比5.7%増)となりました。

<その他事業>

抗菌剤は、新型コロナウイルス感染症の影響の収束、また世界的物価高騰の影響もあり海外市場での旺盛な需要は落ち着き、コロナ禍以前の出荷水準に戻りました。金属キャップは酒類向けの出荷が伸張しましたが、セグメント全体の売上高は2,394百万円(前年同四半期比11.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて6,196百万円増加し、92,732百万円となりました。また、負債合計は2,972百万円増加し、60,759百万円となりました。これは主に、運転資本と有形固定資産の増加並びにそれに伴う未払金(流動負債その他)が増加したことによるものです。

純資産合計は利益剰余金(親会社株主に帰属する四半期純利益)並びにその他有価証券評価差額金の増加により3,223百万円増加し、31,972百万円となりました。これらの結果、自己資本比率は30.4%(前連結会計年度末は29.0%)となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ532百万円減少し、5,537百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、3,596百万円（前年同四半期は2,428百万円の資金増加）となりました。資金増加の主な要因は、税金等調整前四半期純利益、減価償却費及び仕入債務の増加によるものです。一方、資金減少の主な要因は、売上債権の増加によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、2,643百万円（前年同四半期は2,500百万円の資金減少）となりました。資金減少の主な要因は、有形固定資産の取得による支出によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は、1,542百万円（前年同四半期は283百万円の資金減少）となりました。これは主に、短期借入金の減少、長期借入金の返済による支出及びリース債務の返済による支出によるものです。一方、資金増加の主な要因は、長期借入れによる収入及びセール・アンド・リースバックによる収入によるものです。

また、金融機関と総額2,000百万円のコミットメントライン契約を締結しており、資金の流動性を確保しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期通期の業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2023年4月26日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2023年10月25日）公表いたしました「通期業績予想の修正並びに期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,074	3,842
受取手形及び売掛金	15,767	20,605
有価証券	1,000	1,700
商品及び製品	10,517	10,247
仕掛品	775	786
原材料及び貯蔵品	4,131	4,281
有償受給に係る資産	3,136	2,762
その他	2,463	2,180
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	42,862	46,401
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,173	6,513
機械装置及び運搬具（純額）	4,017	4,016
土地	16,745	16,852
その他（純額）	8,487	9,922
有形固定資産合計	35,423	37,305
無形固定資産	121	113
投資その他の資産		
投資有価証券	6,801	7,932
その他	1,184	858
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	7,968	8,773
固定資産合計	43,514	46,192
繰延資産	159	138
資産合計	86,536	92,732

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,782	11,958
短期借入金	4,166	2,355
1年内償還予定の社債	539	510
未払法人税等	293	621
賞与引当金	620	721
その他	7,464	8,935
流動負債合計	22,866	25,102
固定負債		
社債	8,078	7,839
長期借入金	13,660	14,353
役員退職慰労引当金	81	101
汚染負荷量引当金	402	392
退職給付に係る負債	5,120	5,095
その他	7,577	7,874
固定負債合計	34,920	35,657
負債合計	57,787	60,759
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,344	6,344
資本剰余金	4,606	4,606
利益剰余金	6,719	9,034
自己株式	△86	△126
株主資本合計	17,584	19,859
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,241	3,008
繰延ヘッジ損益	7	29
土地再評価差額金	5,393	5,393
為替換算調整勘定	△94	△119
退職給付に係る調整累計額	△27	14
その他の包括利益累計額合計	7,520	8,326
非支配株主持分	3,644	3,786
純資産合計	28,749	31,972
負債純資産合計	86,536	92,732

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月21日 至 2022年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月21日 至 2023年9月20日)
売上高	29,413	29,855
売上原価	22,300	21,384
売上総利益	7,113	8,471
販売費及び一般管理費	5,549	5,272
営業利益	1,563	3,198
営業外収益		
受取利息	1	9
受取配当金	127	102
為替差益	325	147
受取賃貸料	121	129
その他	58	74
営業外収益合計	635	463
営業外費用		
支払利息	124	154
賃貸収入原価	65	130
その他	150	136
営業外費用合計	340	421
経常利益	1,858	3,240
特別利益		
段階取得に係る差益	-	131
特別利益合計	-	131
特別損失		
工場閉鎖関連損失	1,058	-
特別損失合計	1,058	-
税金等調整前四半期純利益	800	3,371
法人税、住民税及び事業税	455	519
法人税等調整額	187	231
法人税等合計	643	751
四半期純利益	157	2,619
非支配株主に帰属する四半期純利益	30	158
親会社株主に帰属する四半期純利益	126	2,461

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月21日 至 2022年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月21日 至 2023年9月20日)
四半期純利益	157	2,619
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△77	768
繰延ヘッジ損益	△22	25
為替換算調整勘定	△88	△24
退職給付に係る調整額	26	41
その他の包括利益合計	△162	811
四半期包括利益	△4	3,431
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△20	3,267
非支配株主に係る四半期包括利益	15	163

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月21日 至 2022年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月21日 至 2023年9月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	800	3,371
減価償却費	1,603	1,515
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2	△1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	63	89
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1	△70
汚染負荷量引当金の増減額 (△は減少)	△10	△9
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	72	△8
受取利息及び受取配当金	△129	△111
支払利息	124	154
為替差損益 (△は益)	△339	△160
工場閉鎖関連損失	1,058	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,114	△4,719
棚卸資産の増減額 (△は増加)	692	189
未収入金の増減額 (△は増加)	△148	794
前渡金の増減額 (△は増加)	△130	△85
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,403	2,154
未払費用の増減額 (△は減少)	42	△120
その他	132	533
小計	3,124	3,515
利息及び配当金の受取額	129	111
利息の支払額	△113	△148
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△712	117
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,428	3,596
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	8	-
有形固定資産の取得による支出	△2,518	△1,873
投資有価証券の取得による支出	△6	△106
貸付けによる支出	△1	△4
貸付金の回収による収入	3	4
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△144
解体撤去費用の支出	-	△482
その他	13	△35
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,500	△2,643

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月21日 至 2022年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月21日 至 2023年9月20日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△4,600	△1,750
長期借入れによる収入	6,150	1,380
長期借入金の返済による支出	△461	△747
社債の償還による支出	△380	△267
セール・アンド・リースバックによる収入	-	626
リース債務の返済による支出	△781	△609
配当金の支払額	△188	△145
非支配株主への配当金の支払額	△22	△27
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△283	△1,542
現金及び現金同等物に係る換算差額	84	57
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△271	△532
現金及び現金同等物の期首残高	5,325	6,069
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,053	5,537

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年3月21日 至 2022年9月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	ガラス びん 関連	ハウス ウェア 関連	紙容器 関連	プラス チック 容器 関連	産 器 業 材 関連	計				
売上高										
外部顧客への売上高	7,256	6,694	3,648	7,910	1,186	26,697	2,716	29,413	—	29,413
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	215	—	215	3,067	3,282	△3,282	—
計	7,256	6,694	3,648	8,126	1,186	26,912	5,783	32,696	△3,282	29,413
セグメント利益又は 損失(△)	△350	118	△30	1,238	172	1,148	413	1,561	2	1,563

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社及び子会社の一部の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額2百万円には、棚卸資産の調整額2百万円、その他△0百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年3月21日 至 2023年9月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	ガラス びん 関連	ハウス ウェア 関連	紙容器 関連	プラス チック 容器 関連	産 器 業 材 関連	計				
売上高										
外部顧客への売上高	6,208	6,834	4,452	8,711	1,254	27,461	2,394	29,855	—	29,855
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	137	—	137	2,457	2,595	△2,595	—
計	6,208	6,834	4,452	8,849	1,254	27,598	4,851	32,450	△2,595	29,855
セグメント利益	551	303	307	1,738	205	3,104	89	3,194	4	3,198

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社及び子会社の一部の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額4百万円には、棚卸資産の調整額6百万円、その他△2百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。